

【件 名】	街路築造工事のうち路面補修工事（6二―主日本橋芝浦大森線）	【事務所名】	第二建設事務所	
【工事場所】	東京都品川区八潮一丁目地内 （主要地方道日本橋芝浦大森線(第316号)）	【受注者名】	アサヒ道路株式会社	
【工 期】	令和7年3月10日から令和7年11月4日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 吉田 善行	

【工事概要】

施工延長 L=1,143m

切削打換え工（密粒度・厚5cm） 5,131㎡

切削打換え工（半たわみ・厚10cm） 1,298㎡

車道舗装打換え工（厚35cm） 2,197㎡

区画線工 一式

【表彰理由】（※発注者側評価）

- ・多数の埋設企業者工事が輻輳するなか、綿密な工程調整のもと都度工程を見直し、当初契約工期内に完了させ、出来栄も良好であった。
- ・KY活動の一環として現場で起こりうる事故をVRを用いて模擬体験するなど安全教育に努めたほか、スポットクーラー等を備えた熱中症対策テントを設けるなど熱中症対策にも万全を期し、無事故で工事完了させた。
- ・ICT施工に取り組むとともに、再生可能エネルギーによる電力調達などH.T.T.の取組も積極的に行っていた。
- ・ごみ捨てが非常に多い現場であったが、積極的に清掃活動を実施し、道路環境の保全に努めた。



施工前



施工後

【受注者の声】

- ◇ 苦労した点
埋設企業者・首都高との工程調整に苦労しましたが、工程調整を円滑に進める為、施工方法・施工数量を計画し、実施区割を確定して工程管理を行ったことで、円滑に工事を進めることが出来ました。（※過去の天候を参考に予備日を設定）
- ◇ 特に工夫した点
車道舗装打換え工(厚35cm)において、一般的な圧砕機ではなく大型切削機による舗装版破碎を採用することで、施工日数を短縮させました。また、スポットクーラー等を備えた休憩所を設置する等の熱中症対策、H.T.T.に取組みCO2削減を実施しました。
- ◇ 現場で得られたやりがいや達成感
舗装版破碎工法の見直し等により施工日数の短縮、安全性の向上を図ったことや、非常に暑い時期での工事であったが入念な熱中症対策により発症者なしを達成できたことです。また、H.T.T.にも取組み、82,412 kg-CO2削減を達成したことです。
- ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと
工事は、施工業者によって様々な過程を経て竣工します。計画から竣工まで企業・現場担当者の技術力を発揮出来る場です。自分で考えた過程で工事が完成した時は、とても満足感が得られます。



大型切削機による舗装版破碎状況